

Sagabi
News 94

94

大学報告

教育後援会総会報告

6月29日(日)、本部キャンパスにて、2025年度教育後援会総会を当日出席者42名、委任状333名、計375名をもって開催いたしました。総会では、2024年度事業・決算報告、2025年度事業計画・予算案のほか、新役員も選出され、いずれも全会一致で承認されました。また、総会閉会後には、キャリア支援担当職員による「進路支援セミナー」を実施し、その後は学科・分野領域別に分かれて、授業での取り組みの様子等について実習授業担当教員とご懇談いただきました。暑い中での開催となりましたが、本学の

教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。

(管理運営グループ)



2025年度 オープンキャンパス・体験入学報告

本学入学希望者を対象としたオープンキャンパスを4月27日(日)、6月1日(日)、7月20日(日)、8月17日(日)に開催しました。学生作品の展示や入試説明会等多数のプログラムを実施しました。また、志望学科・分野領域の授業を体験できる体験入学を5月11日(日)、6月15日(日)、8月3日(日)に実施しました。入学広報グループでは今後も広報活動や内容の充実に励み、多くの方に本学の学びを知っていただけるよう努めます。

2026年度入試では、総合型選抜I期体験授業型を嵯峨美術大学は9月13日(土)に、嵯峨美術短期大学は9月14日

(日)にそれぞれ実施し、多くの方にエントリーをしていただきました。同じく総合型選抜II期面接型を嵯峨美術大学は10月5日(日)に、嵯峨美術短期大学は10月4日(土)に実施します。また、今年度のスカラシップ(特別奨学生)選抜を11月と3月に実施します。本選抜の合格者は特別奨学生として採用され、嵯峨美術大学では総額200万円(年額50万円×4年間)、嵯峨美術短期大学では総額100万円(年額50万円×2年間)の給付を受けることができます。(※継続審査あり)(入学広報グループ)



告知

2025年度 嵐芸祭実施について

2025年10月18日(土)、10月19日(日)に嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学の学園祭である嵐芸祭を開催します。今年のテーマである「灯す」には、1人ひとりの内にある情熱や想いを分かち合い、人と人が繋がっていくという意味が込められています。

恒例の嵯峨美生によるライブパフォーマンスや模擬店をはじめ、客員教授・大槻香奈先生と学生有志によるアートプロジェクト展や、学内での公募展「サガビ公募展2025 be light up」を開催します。また、行灯制作に取り組む本学の竹造サークルと連携して制作したオブジェをキャンパス内に設置予定です。

学生たちはそれぞれの活動を通して、自分の中にある想い

に光を灯しながら準備を進めてきました。嵐芸祭の各所で、来場者の皆様の心にあたたかく届くことを願っています。皆様のご来場をお待ちしております。

(学園祭実行委員会)



報告

2024年度 教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。2024年度寄付金額は古本募金も含めて31件、1,433,323円となりました。

講堂・C棟・A棟の空調工事や情報処理演習室LAN工事および機器更新工事、D棟壁面補修工事、非常放送設備更新工事などを実施し、在学生の学修環境の充実を図りました。リサイクル募金さがりボンプロジェクト(2024年度)につきましては、皆さまの善意により、21,323円となり、本学附属図書館の図書購入費用として活用させていただきました。本学附属図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。ご不要となりました本・DVD・ブランド品等ございましたら、学内に設置のリサイクル回収ボックス※1にご投函ください。もしくは5点以上を段ボール箱に詰めて、きしゃぼん(フリーダイヤル0120-29-7000またはWEBフォーム<https://lp.kishapon.com/sagagei/>)へお申し込みいただければ、送料無料で希望日時に宅配業者が集荷に伺います。

今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の整備・充実に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(管理運営グループ)

2024年度 寄付者の方々(順不同)

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

伊勢俊雄様、木村樹様、杉山洋一様、川建知夏子様
平井貴子様、田中静様、望月正裕様、吉見眞琴様

お名前の公表を希望されない方につきましては、掲載を控えさせていただきます。

※1 回収ボックスの設置箇所は、「管理棟1F事務局内」「C棟3F教育・機材サポートセンター前」の2カ所となっております。

告知

2025年度 教学振興資金寄付のお願い

本学園では教育研究に関わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金の寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動、施設設備等の教育研究環境、学生の奨学制度など、学びの環境を充実させるために活用します。

金額は個人：1口5万円、法人：任意とさせていただきます(1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします)。令和7年4月から令和8年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。

個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学Webサイト「ご寄付のお願い」からお申し込みいただけます。

また、法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄付金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。

なお、ご親族・お知り合いの方などにご支援くださる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければ幸いです。

今後在学生の学修環境の充実に努めてまいりますので、昨今の厳しい経済情勢で申し上げにくいお願いではありますが、温かいご支援をお願い申し上げます。

(管理運営グループ)

本学園Webサイト
「ご寄付のお願い」



<https://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

個人の方、
インターネットでのお申込み



<https://www.kyoto-saga.ac.jp/donation/#private>

各種クレジットカード、コンビニ支払、ペイジーが利用できます。

リサイクル募金
さがりボンプロジェクト

<https://lp.kishapon.com/sagagei/>

読み終えた本などのリサイクル品で募金ができます。



ふるさと納税によるご寄付

ふるさと納税制度を活用して、本学園をご支援いただくことができます。

詳細は京都市ふるさと納税のサイトをご確認ください。 <https://furusato-kyoto.jp/>

※京都市内にお住まいの方が京都市に「ふるさと納税」をされた場合、法令上、返礼品をお送りできません。



問い合わせ先：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 管理運営グループ(寄付金窓口)

Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133

e-mail : soumu@kyoto-saga.ac.jp

あたごふるみちかいどうとぼ

「愛宕古道街道灯し」第30回目を迎えて

1996年に始まった地域行事「愛宕古道街道灯し」は、2025年に記念すべき第30回目の開催を迎えました。本学は1996年の翌年の1997年より、主催団体である嵯峨野保勝会と協力し、この行事の運営や企画に継続的に関わってまいりました。地域文化の継承と活性化を目的としながら、学生・児童生徒・地域住民・来訪者が一体となってつくりあげる本行事は、奥嵯峨の夏の風物詩として定着しつつあります。

第30回となる今年は、8月30日(土)・31日(日)の2日間にわたり開催され、夏休み終盤にもかかわらず多くの来場者で賑わいました。会場となる旧愛宕街道・嵯峨鳥居本の町並みは、学生サークル「竹造」が制作した大行灯を中心に、京都嵯峨学園(嵐山・嵯峨・広沢の各小学校および嵯峨中学校)の児童生徒と協働した色とりどりの行灯、さらに地元住民による蠟燭行灯のあかりで彩られ、幻想的な景観が広がりました。

今年の行灯のテーマは「日本」。2025年開催の大阪・関西万博にあわせ、日本の多様な魅力に改めて目を向ける機会としました。47都道府県の風景や四季の風物詩、伝統行事、音楽、ことわざなど、日常に根ざした日本文化を表現。京都嵯峨学園とのワークショップでは、子どもたちが自身の好きな歌のフレーズを行灯に描き、青春のひとこまや夏の記憶を想起させる作品が多数生まれました。ま



た来場者が足を止め、歌にまつわる思い出を語り合う場面も多く見られ、世代を超えた交流が自然と生まれる空間となりました。

30周年を祝う今年も、さまざまな催しが行われました。

太秦・ひょっとこ踊

りの会や鳴滝和太鼓による演舞・演奏が、点灯式に向かう子どもたちの行進をにぎやかに演出し、10年ぶりに復活した盆踊りでは老若男女が輪になって踊りの輪を広げました。昨年に引き続き好評を博した「ミニ縁日」では、多くの子どもたちが笑顔を見せ、会場は活気に満ちていました。

30年の歩みのなかで、地域社会のあり方は少しずつ変化してきました。担い手の世代交代や近所づきあいの希薄化など、さまざまな課題も顕在化しています。それでも本行事は、地域に根ざし、人々の記憶とともに歩み続けてきました。今後も「100年続く祭り」を目指し、地域と大学が連携しながら、持続可能で魅力ある行事の在り方を模索し、次代へと継承してまいります。

(附属芸術センター研究員 西原秀倫)



染料を使って和紙を染めています



あだし野念仏寺から運んだ火と大行灯



地域の子供たちが作った行灯が道を照らします

教職を目指す学生が小学生の「コマ撮りアニメ」制作支援ボランティアを行いました

本学で教職課程を履修している学生有志11名が、京都芸術教育コンソーシアム(通称Art-e Kyoto)の研究事業として、京都市立西京極西小学校で制作支援に取り組みました。

Art-e Kyotoは、2012年に京滋の芸術系大学と京都市教育委員会が中心に設立した団体で、京都市立小・中学校と連携し、京都ならではの芸術教育の確立と、芸術が社会に息づく風土の創出に向けた提言・発信を行うことを目指しています。

今回は『西西コマコマシアタープロジェクト』と題して、5年生図画工作科の題材「形に命を吹き込んで」の授業で制作し、地域の夏祭りで上映会を開催して保護者や地域の方々と共に鑑賞を楽しむプロジェクトです。

制作は本学学生の支援のもと、コマ撮りアニメーションアプリを使って図工室に準備された洗濯ばさみや紙コップ、カラーモール、その他身近な材料を自由に動かしながら1人1台のタブレットで1コマずつ撮影し、途中で再生しては動きを確認しながら進めていきます。最初の2時間はアプリの使い方を学んでから試作、1週間後の2時間は同じアプリで制作した学生作品を鑑賞してから本作品の制作と、合計4時間の授業でした。

今時の小学生は日常からICT活用に慣れており、学生も驚くほど積極的にそして大胆に制作を進めていきます。1クラス20数人がそれぞれの思いや発想を基に自由に活動するため、学生はフル稼働で子どもたちに寄り添って支援していました。

上映会は西京極社会福祉協議会主催の「西京極まつり」の場をお借りして「西西コマコマシアター」として2回実施しました。当日はさまざまな模擬店も出て小中学生、保護者、地域の方々など多数の来場者で賑わうなか、司会者として協力してくれた学生の進行で、全員の作品をつなげて音楽をつけた映像を大型モニターに映して観ていただきました。参加した学生にとっては実際の教育現場の雰囲気を感じることができ、教職を目指す上で貴重な経験になったと思います。

(造形学科 内田隆寿教授)



学生ひとりにつき2～3人を支援します



ひとりではできない作業をお手伝い



友達と一緒に出来具合を確認めます



紙コップと洗濯ばさみで作ったキャラクター



夏祭りでの上映会：西西コマコマシアター

展覧会情報

日野田崇／嵯峨美術大学 造形学科 教授 個展 "Something/Anything?"

会 期：【第1期】2025年9月23日(火)～10月18日(土)
【第2期】2025年10月28日(火)～11月22日(土)
※日・月曜休廊
時 間：14:00～19:00
会 場：Galleria Finarte ガレリア フィナルテ
愛知県名古屋市中区栄2丁目4-11チサンマンション広小路209

安井健二／嵯峨美術短期大学 デザイン分野 准教授 日韓国交正常化60周年記念事業 日韓大学国際作品交流展

会 期：2025年9月29日(月)～10月2日(木)
時 間：11:00～16:00
会 場：近畿大学交流展 於 近畿大学東大阪キャンパス11月ホール
大阪府東大阪市小若江3-4-1
※その他、本学教務助手・在学生も出品します。

京都絵美／嵯峨美術大学 造形学科 准教授 第2回@えぎぬ展

会 期：2025年11月1日(土)～11月24日(月)
※11/4(火)、10(月)、14(金)、17(月)、18(火)は休館
時 間：10:00～17:00 ※11/21(金)のみ19:00まで
会 場：各務原市立中央図書館
岐阜県各務原市那加門前町3-1-3

芥子萌樹／嵯峨美術大学 デザイン学科 工房付指導助手 新鋭染色作品展

会 期：2025年11月7日(金)～11月30日(日)
※月曜休館(祝日の場合は翌日)
時 間：10:00～17:00
会 場：染・清流館
京都府京都市中京区室町通錦小路上ル山伏山町550-1明倫ビル6階
入館料：大人300円、学生200円
※その他、本学卒業生も出品します。

京都絵美／嵯峨美術大学 造形学科 准教授 第12回 双の会

会 期：2025年11月20日(木)～11月29日(土) ※日・祝休廊
時 間：10:00～18:00 ※土曜10:00～17:00
会 場：春風洞画廊
東京都中央区日本橋3-8-10

シンポジウム登壇のお知らせ

日野田崇／嵯峨美術大学 造形学科 教授 Didattica innovativa nell'insegnamento delle Arti 美術教育における革新的な指導方法

会 期：2025年10月5日(日)
時 間：15:00～17:00
会 場：2025年大阪・関西万博 イタリア館
大阪府大阪市此花区夢洲

※会期・内容は変更する場合があります。休館日等は事前にお確かめください。

行事予定 Aug.2025 — Nov.2025

8月	25日(月) …………… 前期集中授業
9月	3日(水)
	13日(土) …………… 総合型選抜I期〈体験授業型〉大学
	14日(日) …………… 総合型選抜I期〈体験授業型〉短期大学
	22日(月) …………… 後期授業開始
10月	4日(土) …………… 総合型選抜II期〈面接型〉短期大学
	5日(日) …………… 3年次編入学選抜(前期) 大学
	12日(日) …………… 総合型選抜II期〈面接型〉大学
	12日(日) …………… 専攻科選抜(前期) 短期大学
	18日(土) …………… 大学院選抜(前期)
	18日(土) …………… 学園祭※19日はオープンキャンパス同時開催
	19日(日)
11月	1日(土) …………… 総合型選抜III期〈実技型〉
	3年次編入学スカラシップ選抜
	2日(日) …………… スカラシップ選抜(前期)
	16日(日) …………… 学校(指定校)推薦型選抜
	29日(土) …………… 海外帰国生・社会人選抜
	外国人留学生特別選抜

※行事は都合により内容や日程を変更する場合があります。

蒸栗色
今号の色

蒸栗色(むしくりいろ)とは、蒸した栗の皮を剥いた実のような、緑みがかった薄い黄色のことです。栗の実に由来する色といえど赤茶色の「栗色」や「栗皮色」を想像しがちですが、蒸栗色は炊きあがった栗ごはんの間から顔を出す美味しそうな栗の実の色です。「栗」のつく色名は多数あり、栗がいかに我々日本人に身近な存在だったかがよく分かります。



学校法人 大覚寺学園

嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式 Web サイト
<https://www.kyoto-saga.ac.jp>



公式
Facebook



公式
X



公式
Instagram



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町 1 番地
TEL：075-864-7858 (代) FAX：075-881-7133 E-MAIL：info@kyoto-saga.ac.jp

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第94号2025年9月19日発行 編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学

